



絶対の愛を注ぐ人、それは父と母。
父と母の愛ほど強いものはない。
娘と親がどう向き合うか。ここが大切。
そんな日常的で平穏な空気感を写真で表現。

桑島 省二 × 絵理

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY vol. 10

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY

絵理さんは
「2014 大阪あきないグランプリ大阪市長賞」を昨年受賞。

省二さんは
「絵理が写真をスキになってくれたことが嬉しい」と。



新しいことに挑戦する心を常に持ち続けている桑島親子。カッコいい親子でした。絵理さんのブログには「ドーナツがおいしい」とか、「あの食べ物がいい」とか、結構食いしん坊かも。

大阪・JR環状線桃谷駅すぐにある桑島写真スタジオ桃谷スタジオを切り盛りしているのが桑島絵理さん(31) 日本写真映像専門学校を卒業されてもう9年ほどになるでしょうか。もうひとつスタジオが大阪・西区の堀江にあってそのStudio Desse Horiesスタジオ「デッセホリエ」を担当されているのがお父さんの桑島省二さん(59) もちろん、省二さんも日本写真映像専門学校の卒業生です。もうひとつ寝屋川スタジオがあり桑島スタジオは3店舗。今回は桃谷スタジオにお邪魔しました。桃谷の商店街を歩くのは初めて。道幅の細い商店街で懐かしい喫茶店、その隣りが花屋さんで古き良き時代の名残が残っていて「結構いいところがあるんだなあ」が実感でした。買い物帰りのお客様同士が立ち話に夢中になっていたり、子どもたちの自転車のベルが鳴り響いたり、地域のつながりがしっかりとある「やさすぎの場所」でした。「お待ちしておりました」と絵理さんが笑顔でアイスコーヒーを出してくれました。「こんにちは」と絵理さんのお母さん、なんと絵理さんとそっくり。親の職業を継ぐと

いうことは「親の背中をしっかりと見てきた」ということ。親の生き方に尊敬して、誇りを持って継いでいく。父と母の愛ほど強いものはない。真剣に親子が向き合っている。「わたしも親父から写真のことはなにも教えてもらっていませんでした。スキなように商売をやれって(笑)だから絵理にも何も言いません(笑) それでも子どもは親から深い感銘を受けて人間として成長していくのである。「写真を一枚、お願いします」「どこがいいかしら?」1、2階の至る所でオシャレなシーンが撮れるように工夫されている。「1年前にリメイクしたんですよ」絵理さんのセンスが光る。絵理さんはアウトドア派である。「外に遊びに出るのが大好き(笑)」海外旅行ではパリが最高だったとか。パリの風もさわやかで気持ちよかったですかもしれないが、ここ桃谷スタジオ、桃谷商店街、桑島親子にはどこにも負けない美しく大切な日本文化がありました。(は)